

協賛募集

第73回全国植樹祭では、2016年の「希望郷いわて国体・希望郷いわて大会」や2019年の「三陸防災復興プロジェクト2019」など、これまで育ててきた「つながり」を生かしながら、開催趣旨に賛同する企業や団体の皆様と協働・連携した開催とすることを目指しております。

第73回全国植樹祭の開催趣旨にご理解とご賛同をいただき、温かいご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

【協賛の種類】

- 1 資金協賛 全国植樹祭事業の実施に要する資金のご提供
- 2 物品協賛 全国植樹祭事業の実施に要する物品のご提供
- 3 その他協賛 資金協賛や物品協賛に該当しない役務のご提供等

【協賛特典】 協賛規模に応じて、式典への招待など、様々な特典をご用意しています。

【協賛募集期間】 令和5年3月まで



詳しくは公式HPをご覧ください。



ご協賛ありがとうございます

ご協賛いただいた団体等をご紹介します



久慈地方「木の仕事」協議会

株式会社ゼンリン

岩手県レンタカー協会

岩手県空港ターミナルビル株式会社

岩手県漁業協同組合連合会

※令和4年2月末現在(敬称略)

そばっちのつおやき

岩手県の銘木、アカマツがすこいんだよ～

岩手県は、天然のアカマツが豊富。「南部アカマツ」は県の木に指定され、太くて真っすぐに育ち、優しい色合いと柔らかな木目が特徴だよ。近年、アカマツ林が枯れてしまう松くい虫被害が全国各地に広がっていることから、岩手のアカマツは貴重なんだよ。アカマツは、寺社仏閣や住宅の建築材料に使われるほか、海岸の林には、波や潮風を防いだり、魚のすみかを守る重要な役割もあるんだよ。全国植樹祭の開催地である陸前高田市の海岸沿いにも、古くからアカマツが植えられてきたんだよ。



アカマツといえば…高級品とされる秋の味覚「マツタケ」はアカマツ林に生えるんだよ。岩手では、そばにマツタケが入っていることも!他にも、いろんなマツタケ料理があるらしいよ～。



第73回

全国植樹祭の開催準備には
いわての森林づくり県民税
が活用されています

岩手県では、森林環境を保全し、森林を良好な状態で次世代に引き継ぐため、平成18年度から「いわての森林づくり県民税」を導入しています。

第73回全国植樹祭の開催準備には、県民税を活用し、森林・林業の役割や重要性のほか、県民税による取組等について広く情報を発信し、普及啓発を行っていきます。



お問い合わせ先

全国植樹祭だより
創刊号

第73回全国植樹祭岩手県実行委員会事務局

〒020-8570 岩手県盛岡市内丸10-1 電話:019-629-5790
【令和4年4月1日から】〒020-0023 岩手県盛岡市内丸 11-1
ホームページ:https://syokujusai-iwate2023.jp/



(ホームページ)

全国植樹祭 岩手 検索



かけはし通信
次号もお楽しみに
に～!



このパンフレットはいわての森林づくり県民税を活用して制作しました。

植樹祭
だより
IWATE
創刊号
2022.3

通称～かけはし通信～



第73回 全国植樹祭 いわて 2023
緑をつなごう 輝くイーハトーブの森から

緑のかけはし そばっち通信

令和5(2023)年春季に
全国植樹祭を49年ぶりに岩手県で開催します!



陸前高田市

これから「緑のかけはし そばっち通信」で、植樹祭のホットなニュースをお届けするよ～!

式典会場:陸前高田市「高田松原津波復興祈念公園」

「わんこそば」をモチーフにしたキャラクターの「そばっち」。緑の少年団ユニフォームを着て気分十分。

全国植樹祭とは?

全国植樹祭は、豊かな国土の基盤である森林・緑に対する国民の理解を深めるために、毎年春季に開催されている国土緑化運動の中心的行事です。

式典では、天皇皇后両陛下のご臨席のもと、県内外から多くの方々に参加し、記念植樹などを行うものです。

岩手県での開催は、昭和49年5月に岩手郡松尾村(現八幡平市)で開催された第25回大会以来、49年ぶり2回目の開催となります。

※お手播き行事は、全国植樹祭の翌日に江刺市(現在の奥州市)で開催されました。



第70回大会(愛知県)の様子

行事内容

- ・天皇皇后両陛下によるお手植え、お手播き、参加者による記念植樹
- ・大会テーマを表現する様々なアトラクションの披露
- ・国土緑化活動に関する功労者への表彰

県内の参加者はこれから募集するよ

49年前に開催された
岩手大会の様子は…

昭和天皇・香淳皇后両陛下のご臨席のもと、岩手県県民の森において開催しました。植樹行事では、両陛下は南部アカマツをお手植えになり、県内外からの1万6千人の招待者が約2万4千本の苗木を植樹しました。



式典会場(岩手県県民の森:旧松尾村)



天皇皇后両陛下のご臨席

岩手大会の開催理念

○県民総参加による森林づくりと、森林資源の循環利用を推進します。

○森林の恩恵を県内外にアピールし、健全で豊かな森林を次の世代へ引き継いでいきます。

○世代を越え県を越え全国の皆様が参加できる全国植樹祭にします。

○感謝の気持ちを込めて東日本大震災津波からの復興の姿を国内外へ発信します。



式典会場のイメージ

お手植え・お手播き樹種の紹介

式典では、天皇后両陛下が岩手県ならではの樹種をお手植え、お手播きされます。

お手植え樹種 苗木をお手植えされます。



南部アカマツ

本県は、アカマツ資源の宝庫です。前回の岩手大会でも天皇后両陛下がお手植えされました。



カシワ

新芽が出る翌春まで古い葉が落ちないことから、縁起物とされています。端午の節句の柏餅の葉でも親しまれています。



タブノキ

太平洋岸では、本県の山田町が北限の自生地です。東日本大震災津波を受けても一部が生き残り、復興の象徴のひとつです。

岩手県の「県の木」だよ

天皇陛下 3種

皇后陛下 3種



ベニヤマボウシ

陸前高田市では、紅花の咲く原木が、江戸時代末期に採取されたことから、発祥の地とも言われ、市民に親しまれています。



ハナヒョウタンボク

国内では絶滅のおそれがある貴重な樹種であり、二つ付く実がヒョウタンの形に見えることからその名がついています。



ミチノクナシ(イワテヤマナシ)

宮沢賢治の童話「やまなし」でも親しまれ、国内では絶滅のおそれがある貴重な樹種です。東日本大震災津波の復興支援で沿岸部の学校に苗が提供されました。

大会テーマ

全国から応募があった1,275点の作品の中から選ばれました!

緑をつなごう 輝くイーハトーブの森から

作者: 藤田 若葉さん(岩手県北上市) 北上市立江釣子中学校2年※選定時

宮沢賢治が表した理想郷「イーハトーブ」のように、自然と人が調和する岩手県らしい全国植樹祭になること、全国植樹祭を契機に岩手県の豊かな森林の継承や、東日本大震災津波からの復興が一層進んでいくことへの願いが表されています。

大会シンボルマーク

全国から応募があった223点の作品の中から、選ばれました!



森をイメージした緑のキャラクターの輪郭は、県名の由来にもなった三ツ石神社の石や県の形に似ています。

作者: 杉山 市郎さん(千葉県)

大会ポスター原画

岩手県内の小中学校、高等学校及び特別支援学校の児童・生徒から応募があった445点の作品の中から、選ばれました!



タイトル「森に虹をかけよう!」

作者: 高橋 蘭々さん(岩手県北上市) 北上市立黒沢尻西小学校3年 ※選定時

お手播き樹種 種子をお手播きされます。



オヤマザクラ

北国を代表するサクラのひとつです。前回大会で、天皇后両陛下にお手植えされた樹木から採取した種子を今回お手播きします。

天皇陛下 2種



ケヤキ

木目の美しさから建築材や岩手の伝統的工芸品「岩谷堂筆筒」等に利用されるなど、本県の主要な広葉樹のひとつです。

皇后陛下 2種



ヤブツバキ

陸前高田市の花にも選ばれるなど気仙地方を代表する樹種です。太平洋岸では本県の宮古市が北限で、椿油は商品として販売されています。



ハマナス

香料の原料にもなる大きな花が夏の海岸を彩ります。また、東日本大震災津波から生き残る力強さは、復興を象徴します。

苗木のスクールステイ

第73回全国植樹祭で使用する苗木の一部を、県内の緑の少年団や小中学校のみなさんに育てていただきます!

この取組を通して、森林の役割や森林づくりの大切さを子どもたちに普及啓発するとともに、全国植樹祭の開催に向けた機運を盛り上げていきます。

苗木スクールステイの流れ



①苗木の配布
参加団体・学校に苗木を配布します



②苗木の育成
参加団体・学校の子供たちが苗木を育てます



③森林の学習
森林のはたらきや、森林の仕事について学びます



令和3年度は県内の緑の少年団と小・中学校の30団体・学校で実施しました!

④全国植樹祭
育てていただいた苗木は植樹祭で植樹します



今年もみんな育てるよ~

